

令和元年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

地域経済動向調査まとめ

令和2年3月値（令和2年6月1日発行）

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域の経済動向が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。事業活動の参考にしていただければ幸いです。

調査データ出先

調査名（実施機関）	調査対象	調査対象期
西播磨地域景況調査（西播磨県民局）	管内中小企業者等4業種140社	令和2年1月～令和2年3月期
兵庫県の経済雇用情勢（兵庫県）	兵庫県の中小企業	令和2年1月～令和2年3月期
小規模景気動向調査（全国商工会連合会）	全国約300商工会による調査	令和2年3月期
たつの市中小企業景況調査（たつの市商工会）	管内59事業所	令和2年1月～令和2年3月期

たつの市商工会

目次

I 産業全体の業況の推移

II 調査範囲別景気動向

III 業種別経済状況

① 製造業

② 建設業

③ 小売業

④ サービス業

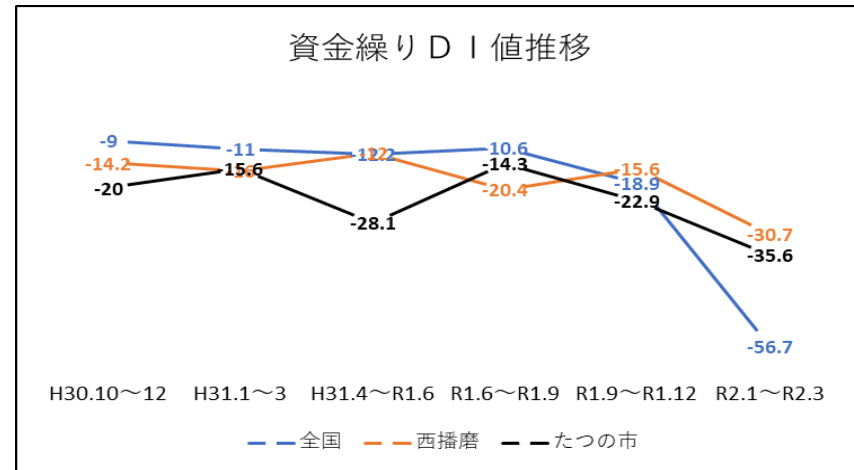
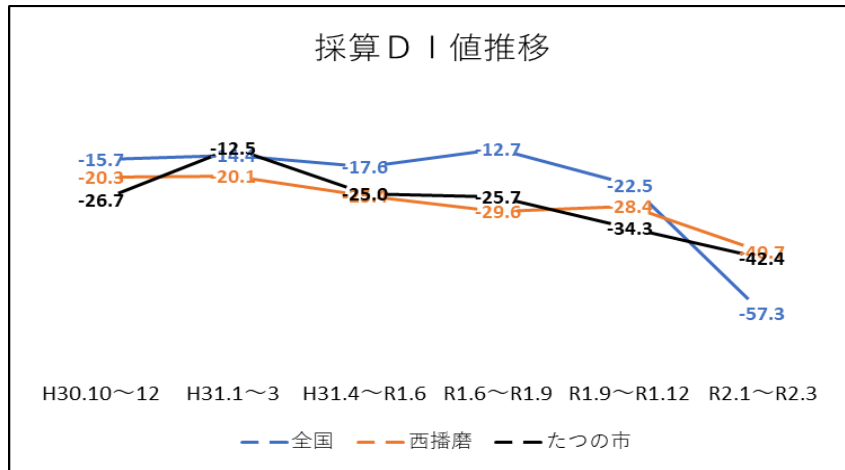
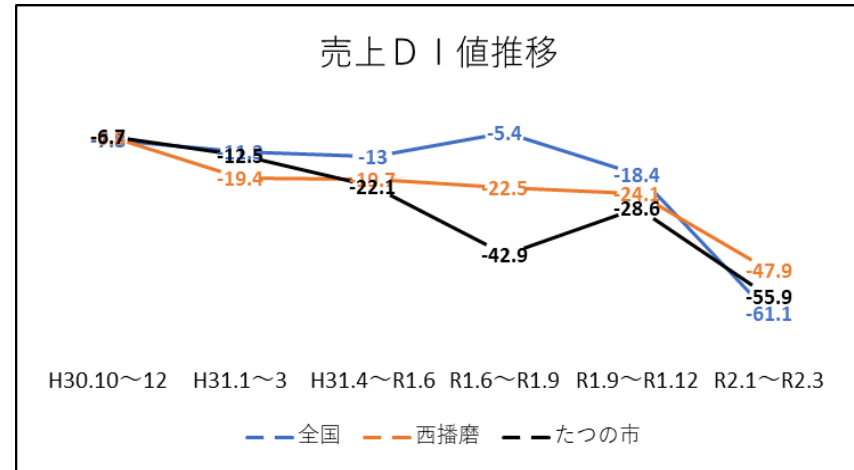
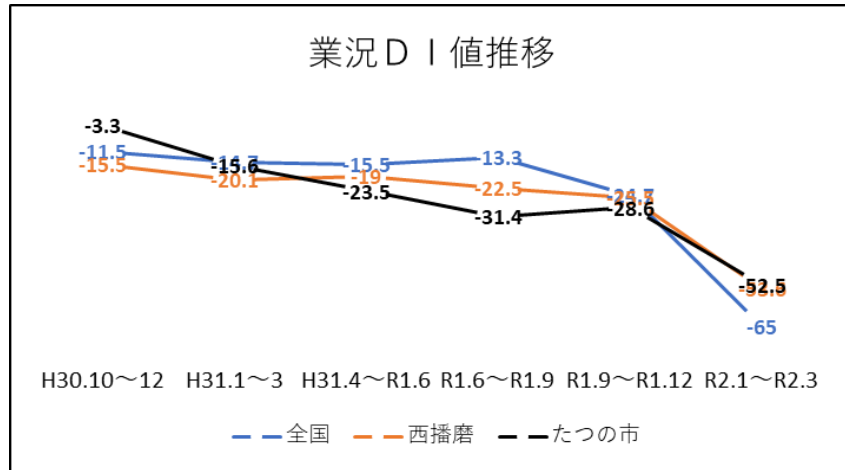
⑤ 業種別 D I 値比較

IV 雇用状況

V 西播磨管内の企業倒産件数及び負債金総額

VI 総括

I 産業全体の業況の推移 <DI値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す>



<概要>

前回調査時と比較すると新型コロナウイルスの影響を大きく受け、全国、西播磨、たつの市の業況は、全調査項目で大きく悪化している。感染拡大の防止対策として外出自粛やイベントの中止・延期、訪日客の入国・行動制限などによりヒト・モノ・カネの流れが停滞したことで、経済活動は大きく制約され、さらには季節需要の減退や消費税率引き上げによる影響の継続、金融市場の大幅な変動も国内景気の下押し要因となった。

II 調査範囲別景気動向

<全国>

2020年1-3月期の全産業の業況判断DIは、(前期▲24.7→) ▲65.0(前期差40.3ポイント減)となり、2期連続してマイナス幅が拡大した。製造業の業況判断DIは、(前期▲24.5→) ▲72.5(前期差48.0ポイント減)と2期連続してマイナス幅が拡大した。建設業の業況判断DIは、(前期▲13.3→) ▲55.2(前期差41.9ポイント減)と2期連続してマイナス幅が拡大した。商業の業況判断DIは、(前期▲35.1→) ▲63.8(前期差28.7ポイント減)と3期連続してマイナス幅が拡大した。サービス業の業況判断DIは、(前期▲25.9→) ▲68.3(前期差42.4ポイント減)と2期連続してマイナス幅が拡大した。どの業種も新型コロナウイルスの影響を大きく受け、大幅にマイナス幅が拡大した。

<兵庫県>

企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きも悪化の見通しである。個人消費は、全体として弱い動きとなっている。生産活動、輸出ともに減少しており、設備投資は、高水準を維持している。有効求人倍率は、低下傾向にあり、賃金の上昇は、弱めの動きとなっている。倒産件数は、前年を下回った。

<西播磨>

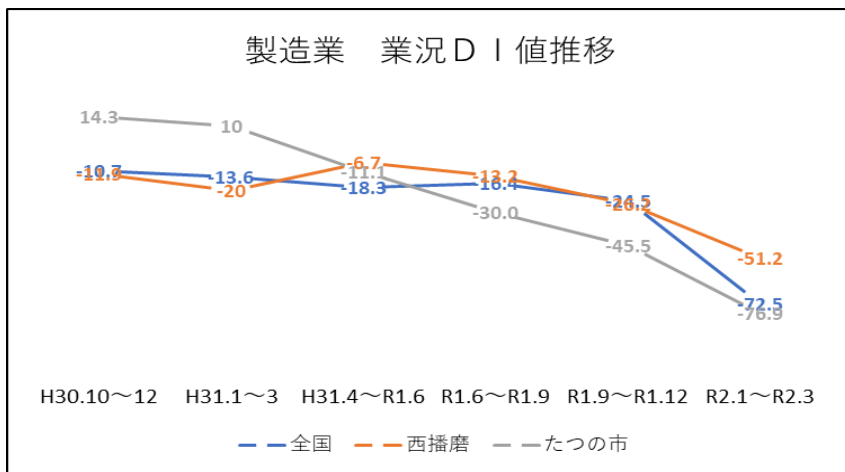
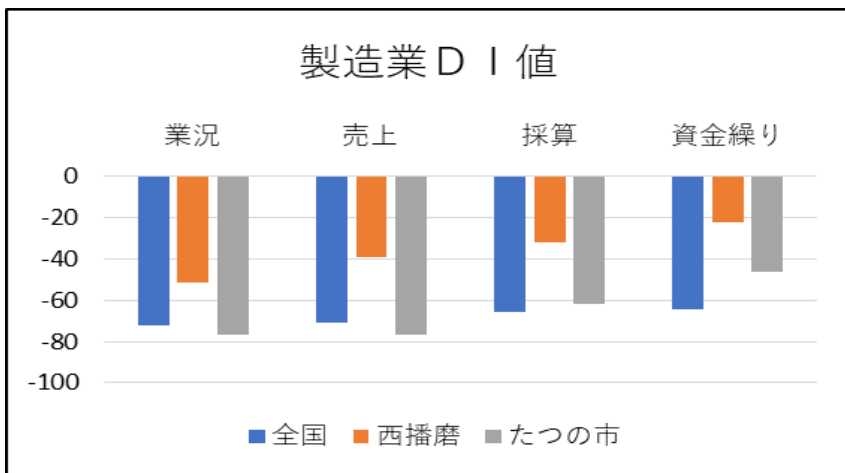
西播磨全体の業況が(前期▲25.5→) ▲53.6(前期差28.1ポイント減)と悪化、売上高が(前期▲24.1→) ▲47.9(前期差23.8ポイント減)と悪化、採算状況が(前期▲28.4→) ▲40.7(前期差12.3ポイント減)と悪化、資金繰りが(前期▲15.6→) ▲30.7(前期差15.1ポイント減)と悪化。来期は(前期▲23.4→) ▲57.9(前期差34.5ポイント減)で悪化する見込みとなっている。全国と比較して業況、売上、採算、資金繰りの全項目で上回っており、業種別においても建設業が若干下回っているが、その他は上回っている。

<たつの市>

たつの市の業況が(前期▲28.6→) ▲52.5(前期差23.9ポイント減)と悪化、売上高が(前期▲28.6→) ▲55.9(前期差27.3ポイント減)と悪化、採算状況が(前期▲34.3→) ▲42.4(前期差8.1ポイント減)と悪化、資金繰りが(前期▲22.9→) ▲35.6(前期差12.7ポイント減)と悪化。来期は(前期▲28.6→) ▲61.1(前期差32.4ポイント減)で悪化する見込みとなっている。

Ⅲ 業種別経済状況

① 製造業



<全国>

製造業は、先月に引き続き全DIで悪化となった。全てのDIが先月を上回る20pt以上の悪化となった。特に資金繰りDIが4業種の中で最も大きかった。外出を控える需要に適合した食品製造業やマスク需要に対応した繊維製品製造業では売上増が見られた。しかし、大部分の製造業では、原材料高騰や受注低下、海外からの部品調達難により売上は大きく落ち込み、また、中国への依存度により、影響度合いの二極化が発生しているとのコメントが見られた。

<兵庫県>

生産活動は振れを伴いつつ横ばい傾向である。設備投資は、高水準を維持している。新型コロナウイルスの影響が大きくなっている。

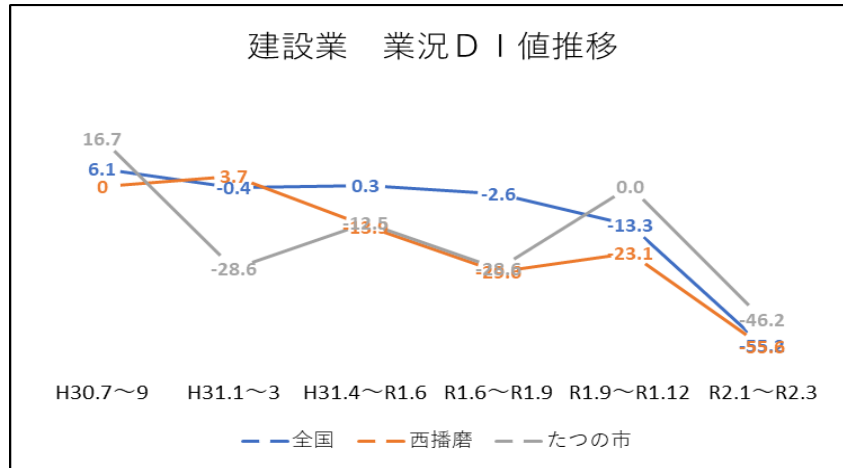
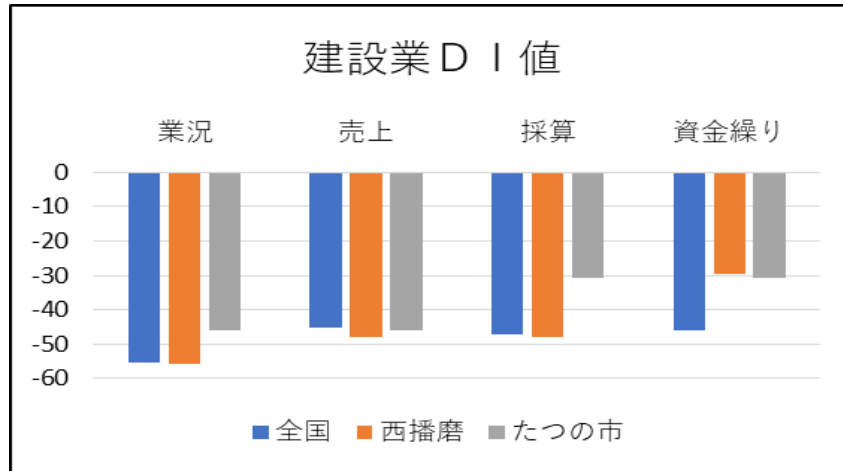
<西播磨>

業種に関係なく、横ばいもしくはやや悪い事業が多い。新型コロナウイルスの影響を受け、資材や部品調達調達が困難になり、生産がストップしている事業所もある。状況が長期化すればさらなる影響がでてくるものと思われる。

<たつの市>

たつの市の製造業が（前期▲45.5→）▲76.9（前期差31.4ポイント減）と悪化。新型コロナウイルスの影響により、中国からの部品の調達ができず、生産活動が止まってしまったことが要因である。

② 建設業



<全国>

建設業は、他3業種と同様に全DIで悪化となった。特に売上高DIは4業種の中でも最も悪化幅が大きかった。例年であれば、3月は公共工事完了により売上が増加する時期であるが、新型コロナウイルスの影響によりバス・トイレなどの水回り品だけではなく、塩ビパイプや継手部品の調達難が発生している。そのため、工事が未完成のまま、資金繰りを圧迫している事例や新規受注に対応できないという報告があった。

<兵庫県>

全体的に横ばいで推移しているが、新設住宅着工戸数は、2か月ぶりに前年3月を上回った。公共工事請負金額は、2か月連続で前年同4月を上回った。

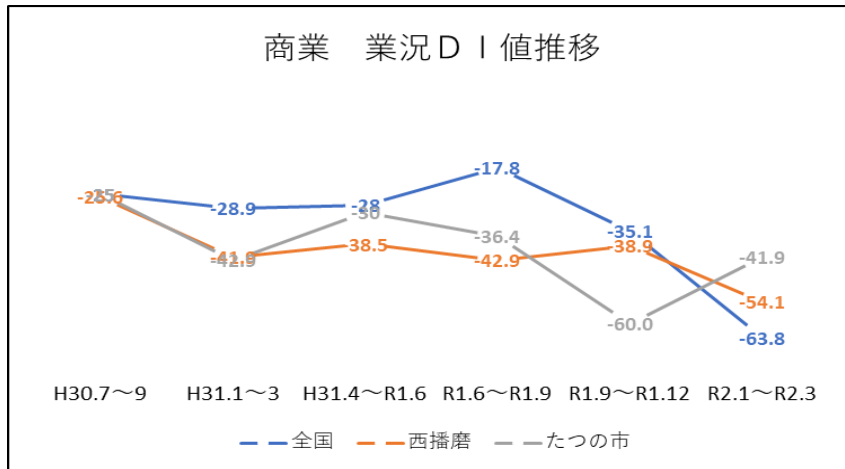
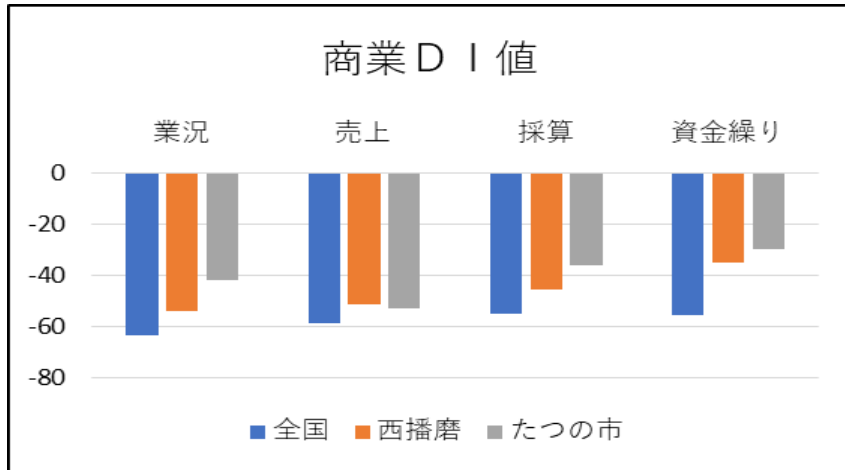
<西播磨>

新型コロナウイルスの影響で住宅資材の確保が困難となり、工事が遅れたりストップしてりしている。完成後の支払いも遅れるため資金繰りの相談もでてきている。請負も減少してきており、先行きの見通しは悪いものになっている。

<たつの市>

(前期0→) ▲46.2 (前期差46.2ポイント減)と悪化。新型コロナウイルスの影響により、外国産など資材等の調達が遅れ、工事の中断等が要因である。

③ 商業



<全国>

小売業は、悪化幅こそ先月並みであったが、全DIが悪化となった。新型コロナウイルスによる外出制限の影響で生活必需品や食料品を買い込む消費者が増えたことから、売上が急増したとの声が聞かれた。一方で、外出抑制や買い控え傾向から、衣料品小売業の売上は大幅に減少となった。また、家電小売業では宿泊施設の入替需要が少なく売上が減少しているとの報告があった。

<兵庫県>

商業販売額は、ドラッグストアが5か月連続、スーパー、ホームセンターは2か月連続で前年同月を上回り、百貨店が6か月連続、コンビニエンスストアが6か月ぶりに、大型家電が2か月ぶりに前年同月を下回った。

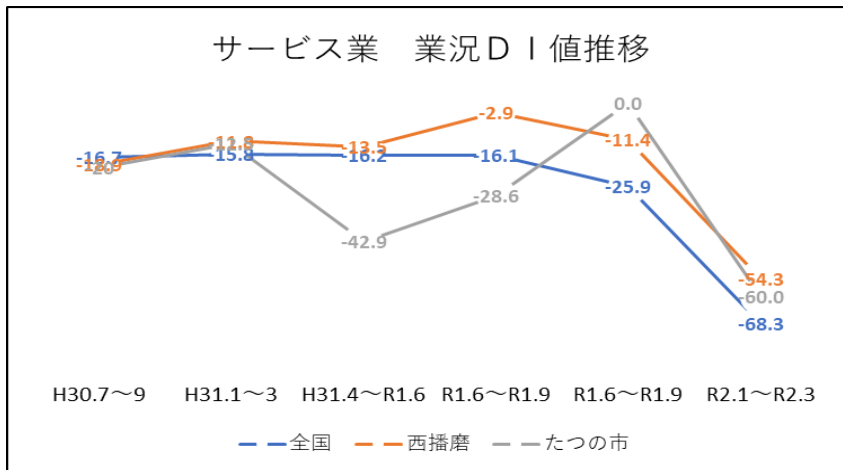
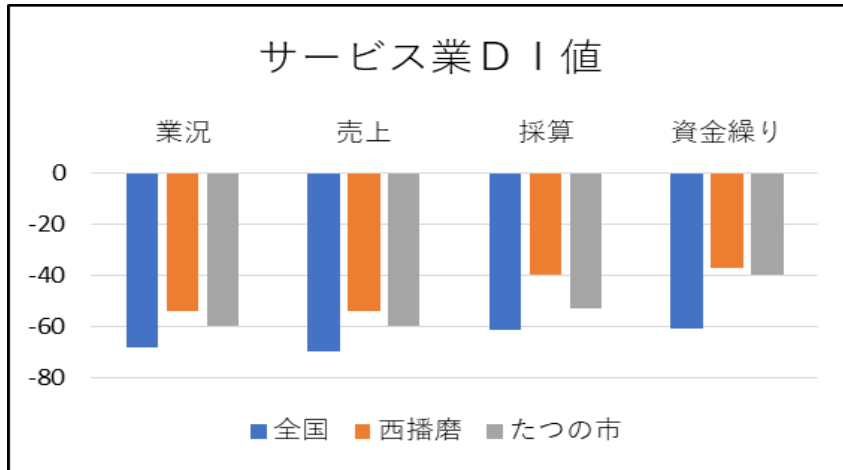
<西播磨>

新型コロナウイルスの影響で、飲食店や宿泊施設全般で歓送迎会や企業の周年事業のキャンセルが相次いだり、自粛による来客数減少で打撃を受け壊滅的な状況となっている。先行きの予測もつきにくい。生活必需品や食品の売上げは伸びている。

<たつの市>

(前期▲60.0→) ▲41.9 (前期差18.1ポイント増) となっており、外出自粛要請により、自宅で飲食をする世帯が増え、食料品小売業が好調の要因と考えられる。前期より回復したものの慢性的に悪化状況である。

④ サービス業



<全国>

サービス業は、2ヶ月連続で全DIが悪化となり、改善を示すコメントは全く無かった。新型コロナウイルスの影響で、宿泊業は壊滅的な状況となったのに加え、この時期はGWの予約が入ってくるシーズンであるが、8~9割の事業者キャンセルが見られるなど、深刻な状況は際立っている。宿泊業以外では、卒業式等の学校行事の中止や各種集会の自粛により、飲食業や理美容業で軒並み売上が激減している。

<兵庫県>

景況感は良くない。新型異なるウイルスの影響で、宿泊業では予約キャンセルが発生し、周辺の観光地にも影響が出ている。

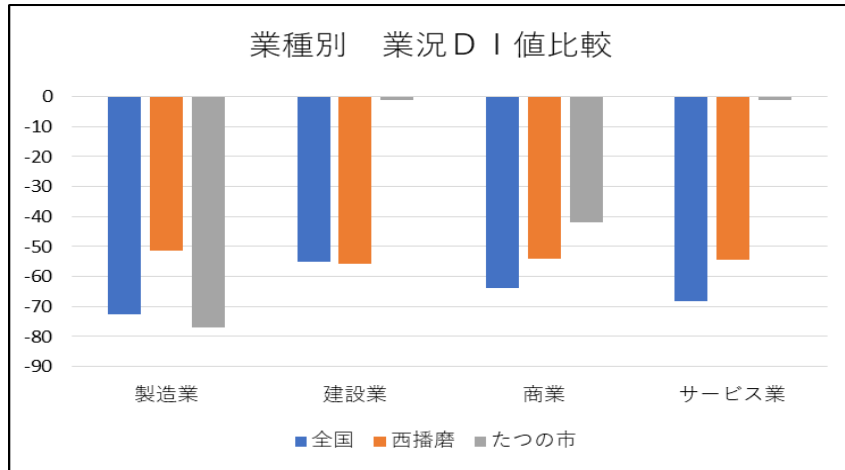
<西播磨>

新型コロナウイルスの影響で、飲食店や宿泊施設全般で歓送迎会や企業の周年事業のキャンセルが相次いだり、自粛による来客数減少で打撃を受け壊滅的な状況となっている。先行きの予測もつきにくい。生活必需品や食品の売上げは伸びている。

<たつの市>

(前期 0→) ▲60.0 (前期差 60.0 ポイント減) と悪化。飲食店や宿泊業に対する休業要請や営業時間短縮や自粛要請により、飲食店の売上が激減している。

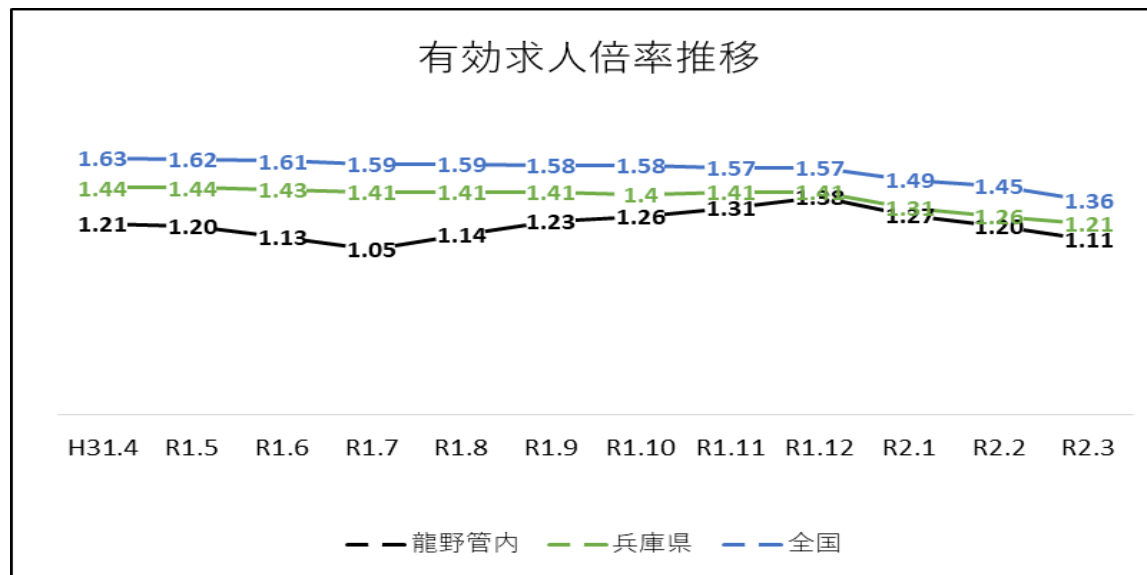
⑤ 業種別 D I 値比較



全調査範囲のすべての D I がマイナスを示しており、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、大幅にマイナス幅が拡大している。全調査範囲でサービス業の停滞が顕著であるが、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、自粛要請や営業時間短縮により、飲食店や宿泊業の売上減少が大きく影響している。

たつの市においては、建設業、サービス業については、全国、西播磨を上回り、好況、不況が均衡している。反対に製造業の調査については、最も景況感が悪く、調査ごとに不況感が顕著になっている。商業については、西播磨、たつの市ともに、マイナスが顕著であり、大型店への顧客集中化が進んでいる。

IV 雇用状況



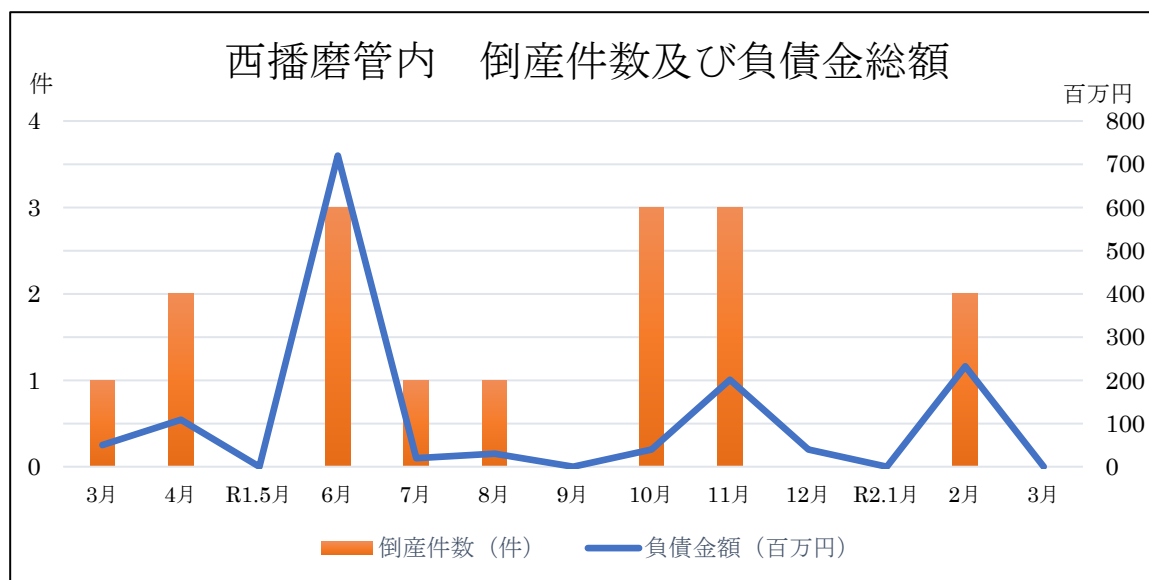
令和2年3月期の有効求人倍率は、全国1.36倍、兵庫県1.21倍、龍野管内1.11倍となっている。この1年の推移では、全国、兵庫県は令和1年9月期までは横ばい傾向であり、たつの市は令和1年8～12月にかけて不足感が広がっていたが、令和2年1月～3月にかけては減少傾向である。管内業種別では、医療関係や介護等の専門サービス業での不足感が強く、今後も同様の傾向が続くことが予想される。今後は、新型コロナウイルスの影響が顕著になり、求人の減少傾向が進むと予想される。

※有効求人倍率 : 求人数 ÷ 求職者数 (例 仕事が20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

V 西播磨管内の倒産件数及び負債金額総額

西播磨の倒産件数は、1月以降は1月0件、2月2件、3月0件であった。負債金額は2月232百万円であった。

兵庫県下の倒産件数は、11月期35件（前年比▲31.4%）、2月期32件（前年比+28.0%）、3月期35件（前年比▲25.5%）となっている。負債金額は、1月期68億円（対前年同月比+93.6%）、2月期36億円（対前年同月比+3.6%）、3月期24億円（対前年同月比▲87.2%）であった。



VI 総括

国内景気は、新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりをみせるなか、全業種の景況感が大幅に悪化した。感染拡大の防止対策として外出自粛やイベントの中止・延期、訪日客の入国・行動制限などによりヒト・モノ・カネの流れが停滞したことで、経済活動は大きく制約された。特に旅行客の急減などを受けて「旅館・ホテル」の景況感は過去最低の水準に落ち込んだ。また季節需要の減退や消費税率引き上げによる影響の継続、金融市場の大幅な変動も国内景気の下押し要因となった。

たつの市においては、昨年度から不況傾向であった製造業は、引続きに下落が進んでおり、貿易戦争や日韓の政情不安に端を発した元請け事業所の生産調整の影響、さらには新型コロナウイルス感染症に影響により、海外からの部品等が納品されず製造ラインが停止するなどより大きくなっている。市内建設業については一部の設備業、リフォーム業で好況であるが、製造業と同様に、外国産資材などが納品されず、工事が中断するなど影響が出ている。商業・サービス業については引き続き厳しい状況である。またいずれの業種においても、海外動向や新型コロナウイルスなど不確実性が高まり、後退が続くとみられる。

以 上